

1-2 利用研究状況

1. 2016年度の利用統計

2016年度の利用期間は2016A期（2016.3～7）と2016B期（2016.9～2017.3）である。2015年度から調整運転を開始していたBL1（軟X線FELビームライン）について、2016A期より共用に供出した。

※1 2016A期より導入。成果（査読付論文等）公開義務が無い代わりにビーム使用料（税込1,098千円/2時間）が課せられる。ビームタイム配分は2時間単位。当面、日本国内に法人格を有する企業による（申請者（実験責任者）が当該企業に所属する方）に限る。

2. 供用開始から2016年度までの利用推移

2012年3月よりSACLAの供用が開始された。利用期については年間をA期、B期の2期に分けて設定し、利用研究課題は利用期ごとに公募・選定のうえ実施されている。2016年度は2016A期に成果を公開せずに専有することが可能な成果専有利用制度（※1）、2016B期に随時応募可能な成果専有時期指定利用制度（※2）をそれぞれ導入した。

※2 2016B期より導入。利用の時期が制限される公募方式の成果専有利用制度とは別に、申請を随時受け付けており、申請された課題は順次審査される。ビームタイム配分や応募資格は成果専有利用制度に準じるが、ビーム使用料は（税込1,647千円/2時間）が課せられる。

表1 応募・採択状況（申請課題を実験責任者の所属で区分）

利用期	課題種	産業界		大学等教育機関		国立試験研究機関等		海外機関		計		採択率 (採択/応募)
		応募課題数	採択課題数	応募課題数	採択課題数	応募課題数	採択課題数	応募課題数	採択課題数	応募課題数	採択課題数	
2012A	重点戦略課題（成果非専有）	1	1	30	10	12	7	12	7	55	25	45%
	一般課題（成果非専有）	1	1	14	5	8	5	4	2	27	12	
2012B	重点戦略課題（成果非専有）	3	1	22	14	11	7	13	5	49	27	55%
	一般課題（成果非専有）	3	1	7	3	5	2	4	2	19	8	
2013A	重点戦略課題（成果非専有）	1	1	26	11	15	8	17	4	59	24	41%
	一般課題（成果非専有）	1	1	10	8	6	2	9	3	26	15	
2013B	重点戦略課題（成果非専有）	1	1	28	12	17	11	22	6	68	30	44%
	一般課題（成果非専有）	1	1	9	3	7	4	14	3	31	19	
2014A	重点戦略課題（成果非専有）	1	1	18	12	12	8	18	7	49	28	57%
	一般課題（成果非専有）	1	1	3	2	5	3	8	2	17	8	
2014B	重点戦略課題（成果非専有）	1	1	29	11	16	12	24	5	70	29	41%
	一般課題（成果非専有）	1	1	7	2	8	7	14	2	30	17	
2015A	重点戦略課題（成果非専有）	0	0	26	12	19	11	21	10	66	33	50%
	一般課題（成果非専有）			7	2	7	5	10	3	24	10	
2015B	重点戦略課題（成果非専有）	0	0	23	13	18	12	22	10	63	35	56%
	一般課題（成果非専有）			8	3	8	4	11	5	27	12	
2016A	重点戦略課題（成果非専有）	3	2	25	15	12	7	25	10	65	34	52%
	一般課題（成果非専有）	2	1	6	4	4	2	16	5	28	12	
	一般課題（成果専有）	1	1							1	1	
2016B	重点戦略課題（成果非専有）	3	3	29	18	17	13	36	8	85	42	49%
	一般課題（成果非専有）	2	2	20	12	7	5	13	4	40	21	
	一般課題（成果専有）	1	1	9	16	10	8	23	4	44	20	

3. 利用研究課題の推移

2016年度の応募・採択状況を表1、課題実施状況を表2に示す。

2016A期においては申請65課題のうち34課題が、2016B期においては申請85課題のうち42課題がそれぞれ選定され、利用研究が行われた。なお、利用研究課題には、2012年度に開始された文部科学省委託事業「X線

自由電子レーザー重点戦略研究課題」に係る課題も含まれる。2016年度に新規利用制度として導入された成果専有利用制度においてはA期・B期ともに1課題、成果専有時期指定課題においては2016B期に1課題が実施された。

理研 放射光科学研究推進室

表2 課題実施状況（実施課題を実験責任者の所属で区分）

利用期	課題種	産業界		大学等教育機関		国公立試験研究機関等		海外機関		計		延べ 来所者数
		実施課題数	実施シフト数	実施課題数	実施シフト数	実施課題数	実施シフト数	実施課題数	実施シフト数	実施課題数	実施シフト数	
2012A		1	2	10	50	7	42	7	32	25	126	297人
	重点戦略課題（成果非専有）			5	34	2	12	5	20	12	66	
	一般課題（成果非専有）	1	2	5	16	5	30	2	12	13	60	
○上記のほか、JASRI スタッフによるインハウス課題が計4課題（計14シフト）実施。												
2012B		1	4	14	76	7	44	5	30	27	154	461人
	重点戦略課題（成果非専有）			11	64	5	32	3	18	19	114	
	一般課題（成果非専有）	1	4	3	12	2	12	2	12	8	40	
○上記のほか、JASRI スタッフによるインハウス課題が計4課題（計16シフト）実施。												
2013A		1	2	11	48	8	44	4	23	24	117	268人
	重点戦略課題（成果非専有）			8	34	6	34	1	7	15	75	
	一般課題（成果非専有）	1	2	3	14	2	10	3	16	9	42	
○上記のほか、JASRI スタッフによるインハウス課題が計4課題（計10シフト）実施。												
2013B		1	2	12	54	10	55	7	28	30	139	410人
	重点戦略課題（成果非専有）			9	42	6	35	4	12	19	89	
	一般課題（成果非専有）	1	2	3	12	4	20	3	16	11	50	
○上記のほか、JASRI スタッフによるインハウス課題が計4課題（計14シフト）実施。												
2014A		1	2	12	61	8	43	7	41	28	147	400人
	重点戦略課題（成果非専有）			10	51	5	28	5	29	20	108	
	一般課題（成果非専有）	1	2	2	10	3	15	2	12	8	39	
○上記のほか、JASRI スタッフによるインハウス課題が計5課題（計15シフト）実施。												
2014B		1	2	11	54	12	58	5	26	29	140	430人
	重点戦略課題（成果非専有）			9	45	5	27	3	15	17	87	
	一般課題（成果非専有）	1	2	2	9	7	31	2	11	12	53	
○上記のほか、JASRI スタッフによるインハウス課題が計4課題（計9シフト）実施。												
2015A		0	0	12	54	11	48	10	42	33	144	527人
	重点戦略課題（成果非専有）			10	44	6	26	7	32	23	102	
	一般課題（成果非専有）			2	10	5	22	3	10	10	42	
○上記のほか、JASRI スタッフによるインハウス課題が計4課題（計12シフト）実施。												
2015B		0	0	13	56	12	54	10	42	35	152	552人
	重点戦略課題（成果非専有）			10	39	8	34	5	21	23	94	
	一般課題（成果非専有）			3	17	4	20	5	21	12	58	
○上記のほか、JASRI スタッフによるインハウス課題が計4課題（計12シフト）実施。												
2016A		2	5	15	77	7	29	10	47	34	158	538人
	重点戦略課題（成果非専有）			11	56	5	19	5	20	21	95	
	一般課題（成果非専有）	1	5	4	21	2	10	5	27	12	63	
	一般課題（成果専有）	1	0.17							1	0	
○上記のほか、JASRI スタッフによるインハウス課題が計3課題（計10シフト）実施。												
2016B		4	8	18	90	13	66	8	33	43	197	650人
	重点戦略課題（成果非専有）			12	59.92	5	19	4	17	21	96	
	時期指定課題（成果専有）	1	0.17							1	0	
	一般課題（成果非専有）	2	8	6	30	8	47	4	16	20	101	
	一般課題（成果専有）	1	0.17							1	0	
○上記のほか、JASRI スタッフによるインハウス課題が計4課題（計12シフト）実施。												